

平成30年度 学校経営方針

佐々町立佐々中学校
校長 近藤 隆生

I 本校教育方針

教育基本法や長崎県、佐々町の教育方針並びに教育振興基本計画に基づき、本校生徒の実態を把握し、保護者・地域社会の状況を踏まえた上で、社会の変化に主体的に対応できるための「生きる力」を育み、心豊かでたくましい人間を育成する。

そのために、教職員一人一人が豊かな人間性・社会性と教育公務員としての自覚を高め、教育者としての使命感に燃え、教育愛と指導力を身につけ、学校・家庭・地域社会が一体となって、本校教育活動の推進と充実に努める。

II 本校の教育目標

学校教育目標：自ら求めて伸びる生徒の育成
校訓：自主 根気 鍛練



☆めざす生徒像☆
①自ら学び考える生徒（知）
②思いやりのある生徒（徳）
③心身共にたくましい生徒（体）



☆めざす学校像☆
①節度と活気のある学校
②清潔な学校
③信頼される学校

☆めざす教師像☆
①心のふれあいを大切にする教師
②生徒と共に考え歩む教師
③使命感に徹し自ら範を示す教師

III 学校経営の基本方針

21世紀を力強く生きる生徒の育成をめざして、「自ら学び考え行動する力」をはじめとした「生きる力」の育成と「何を知っているか」から「どのような問題解決を成し遂げるか」への転換を積極的に推進する。そのために、教職員の資質向上と学校・家庭・地域との連携・協力を基盤に知・徳・体を育み、生徒が自ら求めて伸びる創意と活力に満ちた学校づくりに努める。

『みんなが主役の 佐々中で 伸ばそう 君のよさを』
～ みんなが主役！ 心はひとつ！ チーム佐々中！ ～

私たち教職員は、「人が人を育て、人をつくる」という崇高な使命感に深く喜びをもち、これまで本校に勤務した多くの先輩方が営々と築いてこられた本校の伝統と教育成果を踏まえながら、教育の進むべき道を見極め、「何を知っているか」から「どのような問題解決を成し遂げるか」への転換と「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」の育成に努めることが大切である。

また、教育の成果を上げるためには、教職員の和を大切にしながら、一丸（心はひとつ）となって目標達成のために、お互いの知恵を出し合い、共に汗を流し（チーム佐々中）、それぞれの先生方の持ち味（みんなが主役）を十分に発揮してほしい。

1 学校経営の基本

(1) 一人一人の生徒を大切に教育の実践

教師と生徒の信頼関係のもとに、教育者としての信念と自信をもって、元気で明るく生徒の指導にあたる。

日常の学校生活の中で、努めて生徒とのふれあいの機会を多くもって生徒理解を図り、一人一人の生徒をかけがえのない存在として認めた上で指導する。そして、自己実現のためにできるかぎりの支援を行い、心豊かでたくましい生徒を育てる。

また、生徒一人一人は何らかの『よさ』をもっている。さまざまな学習活動の中で、生徒のもっている『よさ』を発見し、その『よさ』を認め、伸ばすことで、主体的にやる気のある生徒を育てる。

(2) 「確かな学力」を身につけさせる

知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指すことは当然であるが、各教科、総合的な学習の時間の中で、基礎基本の定着を図り、「確かな学力」を身につけさせる。そのために、「読む」「書く」「計算力」「企画力」「表現力」という生きていくために必要な基礎的な力をあらゆる場面を通して、意図的・計画的に身につけさせるように努める。

(3) 家庭・地域社会との連携

学校は地域社会から離れては存在しない。教育を進めるにあたっては、PTA、保護者会、地域とのさまざまな会合の中で、家庭や地域の願いに謙虚に耳を傾け、取り入れるところは取り入れる。そして、学校の取組の様子は、学校だより、学年だより、学級だより、授業参観等を通じて積極的に情報公開して、相互に協力と連携を図っていく。

(4) 特色ある学校づくり

「佐々中学校は、佐々町の誇りである」と生徒や保護者が胸を張って言えるような特色のある学校づくりを進める。一年後の教育の成果として、生徒も保護者も教職員も「良かった」と自信をもって言え、「よくなった」とみんなが認める教育を目指したい。

2 本年度の努力目標及び具体的な取組

(1) 「確かな学力」を育む教育の推進

- ①基礎基本の定着
- ②学力向上対策の充実
- ③ICT活用による授業改善
- ④言語活動と読書活動の充実
- ⑤家庭学習の習慣化と質の向上

(2) 「豊かな心」を育む教育の推進

- ①**考え・議論する**道徳の授業づくり
- ②人権を尊重する集団づくり
- ③勤労・奉仕の精神の育成
- ④いじめを許さない態度・雰囲気醸成
- ⑤3つの手の実践

(3) 自己実現をめざす生徒指導の充実

- ①基本的な生活習慣の確立
- ②開発的な生徒指導の実践
- ③深い生徒理解と教育相談の充実
- ④問題行動への早期発見・即対応
- ⑤「凡事徹底」7つ行動目標の達成

(4) 自主・自立を育む特別活動の充実

- ①「生き方指導」としての進路指導の充実
- ②生徒の主体的な活動を生かした学校行事
- ③生徒会活動の充実（生きた自治活動）

- ④学校行事の充実
- ⑤生徒のリーダー育成
- (5)「健やかな体」を育む教育の推進
 - ①体力の向上と体づくりの推進
 - ②食育の推進
 - ③保健指導・安全指導の充実
 - ④性教育の推進
 - ⑤部活動の充実と休養日への対応
- (6)清潔で潤いのある教育環境づくり
 - ①潤いのある学校環境
 - ②清掃指導（無言清掃）
 - ③「節度」と「活気」のある学校
 - ④掲示物の充実
 - ⑤安全点検の実施

3 教育環境の充実・改善

- (1)地域の教育力の活用
- (2)小中連携の推進
- (3)コミュニティスクールの推進
- (4)「佐々っ子応援団」との連携
- (5)「佐々っ子夢プラン」の推進
- (6)土曜授業への対応

IV 学校事務の共同実施

(1) 本校の所属

【佐々地区】 小学校：口石小、佐々小 中学校：佐々中
室 長：佐々小 中村 真弘 事務主幹

(2) 効果

- ①近隣校で学校事務を共有するとともに、事務分掌を分担し職務を遂行できる。
- ②事務処理について精査し、課題があれば改善策を講じることができる。
- ③事務職員同士のネットワーク化が図れる。

(3) 教職員の協力

- ①提出書類については、期限を守る。
- ②出張等における、伺いや報告は確実に行う。
- ③居住・通勤・扶養親族等の届け事項に変更等が生じた場合は速やかに報告する。